

ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ 【2020年1月7日放送分・勾当台通／表小路】

毎月第1火曜日に放送しています。歴史家で街歩きの達人・ブラキムラこと木村浩二さんと、旧城下町に88本ある石柱＝辻標から歴史の痕跡を探る旅です。街歩きのお供には、仙台市役所1階の市政情報センターなどで販売中の冊子、その名もズバリ「辻標」が便利です。88本ある辻標の場所や周辺の歴史が、写真とともに分かりやすく解説されています。これからどうぞよろしくお願いいたします！

- 記念すべき「ブラキムラとめぐる！仙台城下町ボヤージュ」第1回の放送は、仙台市役所前の辻標からスタートです。

- 今も通りや公園に名を残す「勾当」とは、狂歌の腕を買われて伊達政宗に取り立てられた、花村勾当という人物が住んでいた場所という意味。勾当台公園の県庁側、その真ん中辺りに階段がありますね。あれは広瀬川の削り残した、河岸段丘だそうです。花村勾当はその崖の上＝台地に住んでいたから、周辺を「勾当台」と呼ぶようになったそうです。

- ちなみに「表小路」は、藩校・養賢堂正門に通じる道。今でいう通学路でした。
- 通りの名前ひとつに歴史が込められていることがよく分かる「仙台城下町ボヤージュ」。今後の旅が楽しみです。
- 〈文・佐々木淳吾〉

